

# R 2 年度 児童発達支援に係る事業所の自己評価

令和 3 年 3 月 25 日公表

北本市立児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○		
	②	職員配置数は適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスの担任外の職員が配置されると、更に支援の質が向上すると考えています。</li> <li>・配置数だけでは支援をする上で難しさもあるため、配置の工夫が必要です。</li> </ul>
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	○		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	○		新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行いました。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるために PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○		検討会をはじめ、日常的に職員間での相談や業務を振り返る機会を設けています。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施して保護者等の意思等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	導入に向けて検討していきます。
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		職員に必要な研修内容について考え、定期的に園内学習会を行っています(講師は担当制)。園外研修については、リモートでの研修を受けました。今後も職員の資質向上のため研修を継続していきたいと考えています。

	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
--	---	---	---	--	--

	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		今後も、児童発達支援計画に沿った支援を行い、その内容について保護者の方にしっかりとわかりやすく説明できるようにしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		事業の担当で、次週の予定や行事などの話し合いを行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		担当同士で、遊びや生活の振り返りを行い、次からの活動に活かしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		言語聴覚士、作業療法士、理学療法士による個別活動とクラスの活動を組み合わせています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容な役割り分担について確認しているか	○		担任同士でもこまめに話し合う機会を設けています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日、クラスごとに1日の振り返りを行っています。また、毎週木曜日にケースカンファレンスを実施し、金曜日には次週に向けての打ち合わせを行ってきました。今後も継続していきます。

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日の記録や保護者の方とのやりとりが、支援の振り返りをした時に改善につながる大事なものになっています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		

関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		市健康づくり課の保健師や子育て支援課相談員と適宜連携をしています。
や保護者との連携	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重心障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重心障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連携した支援を行っているか	—	—	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		センターから保育所(園)や認定こども園、幼稚園等に行く時や、両方の施設を利用する(併用)時には、連携会議を行っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		サポート手帳の活用もしています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		

⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○ 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施が出来ませんでした。今後、コロナの状況が落ちついた時には、保護者の方のご意見も含め、まずは近隣と公立保育所と日程調整を細かく行った上で、天候やお子さんの状態を見ながら交流する機会を設けていきたいと考えています。
㉑	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	
㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合、こどもの発達の状態や課題について共通理解をもっているか	○	日々、お子さんの様子を保護者の方に丁寧にお伝えすること、また、ねらいや目的をわかりやすくお伝えすることが信頼関係にもつながっていくと考えております。

㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか		○ 今年度の研修は新型コロナウイルスの影響から実施に至らないことがありました。今後も状況をみながら可能な限り活用をしていきたいと考えています。さらに保護者の方が必要とする支援ができるようにセンター内でも検討をしていきたいと思っています。親子通所につ
---	--	--	---

					いては保護者の方のご理解のもと実施しました。
保護者非常時等の対応	③②	緊急時対応利用者負担等防犯や至丁寧な説明感傷症対応のマニュアル等を策定し、	○		毎月1回火災や地震、不審者を想定して避難訓練を行っています。今後はさらに
	④①	児童発達支援センターの周知する子ども児童発達支援センターの提供訓練を実施し、	○		児童発達支援センターの提供訓練を実施し、
	③③	支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援	○		児童発達支援計画と保護者の声に合わせ、
	④②	非常時の対応に備えるか定期的に避難、	○		
	③④ ④③	緊急時の他、保護者訓練を子育ての悩み等事前はる相談や通防接種して必要な助産等支援を街の状態を確認しているか	○		ご相談いただいた内容は、職員間で共有を図り支援内容を検討しています。
保護者非常時等の対応	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今後もさらに、家族会のご支援ができるようにしていきたいと思います。状況が落ち着いた時には保護者の方同士が、情報や悩みを共有する時間を設けることも検討していきたいと思います。
	③⑥	保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者の方から申し入れがあった際には速やかに児童発達管理責任者と所長に報告し対応をしています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信しているか	○		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度は新型コロナウイルスの影響から行事を中止、縮小したためできませんでした。	

	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
--	----	---------------------------------------	---	--	--

④⑤	ヒアリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒアリハットやケガ等があった場合には、その日のうちに職員間で話し合う機会を設けています。事務所内に掲示してある表は、すぐに取り出して書き込みができたり、確認ができるようにしています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に掲載している。	○		組織的に必ず研修は行っていますが、該当する児童がいません。